



# JR-MS

株式会社 JR東日本メカトロサービス

<https://www.jrms.co.jp/>

フィールドエンジニアガイドブック

# 機械に、人に、 ひたむきに。

本社・東京支店

〒108-0023  
東京都港区芝浦3-9-1  
芝浦ルネサイトタワー

TEL: 03-6690-6001  
FAX: 03-6691-8471

大宮支店

〒330-0853  
埼玉県さいたま市大宮区錦町1017  
(JR東日本大宮総合車両センター内)

TEL: 048-653-1031  
FAX: 048-653-1103

仙台支店

〒983-0852  
宮城県仙台市宮城野区榴岡1-6-30  
ディーグランツ仙台ビル6階

TEL: 022-257-1177  
FAX: 022-257-1179

仙台支店 郡山支所

〒963-8003  
福島県郡山市燧田195  
郡山駅南部現業事務所1階

TEL: 024-924-0171  
FAX: 024-924-0172

# JR-MS





## About Us



私たちはフィールドエンジニアとして  
自動券売機、自動改札機などの  
出改札機器をはじめ、  
ホームドアや空調機器に関する  
日々のメンテナンスや故障対応を行っています。



そうした技術サービスを通じて  
駅を利用されるお客さまに、いつもと変わらぬ  
“あたりまえの日常”をお届けしています。



## フィールドエンジニアの主な仕事

### メンテナンス業務

#### ● 出改札機器の維持管理

各駅に設置している自動改札機・自動券売機などの出改札機器を安心してご利用いただくために、定期点検や故障対応を通じ、品質を確保しています。



#### ● ホームドアの維持管理

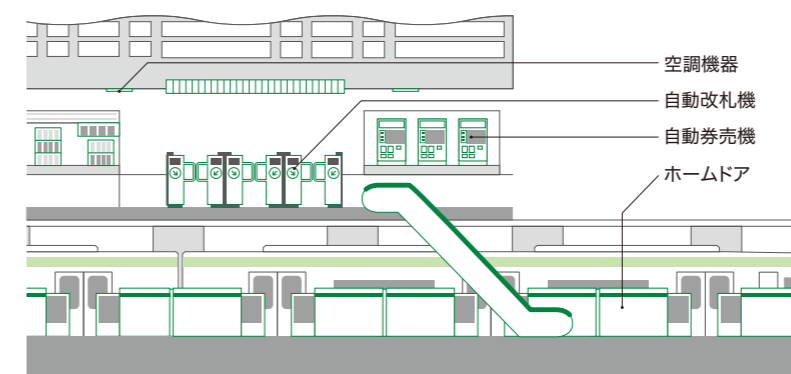
お客さまに安心してご利用いただけるよう、ホームドアの定期点検や故障対応をしています。

#### ● 空調機器の維持管理

快適な駅空間をご利用いただくために、協力会社と連携しながら、駅や信号機器室に設置されている冷暖房装置・ボイラー、換気・排煙装置の定期点検や故障対応をしています。



### 出改札機器から空調機器、ホームドアまで。



フィールドエンジニアがメンテナンスを担当するのは、自動改札機・自動券売機に加え、空調機器や転落防止のために設置の進むホームドアまで多岐にわたります。とくに自動改札機やホームドアは、駅の最重要設備であり、その技術も進化し続けています。日々の経験から技術力を磨き、最新動向にアンテナを張りながら、的確で迅速な定期点検・修理を実現するフィールド技術サービスを提供しています。



# Scenes

とある駅からお届けする  
若きエンジニアたちの想い

フィールドエンジニアはさまざまな時間帯に、さまざまな場所で働いています。  
今日も、とある駅で若きフィールドエンジニアたちがメンテナンスに励んでいます。

🕒 02:30

誰もいなくなっただけで、本番。

終電が発車し、がらんとした駅。私たちにとっては、そこからが本番だ。事前に打ち合わせたように、迅速かつ確実にホームドアの点検作業を進めていく。大丈夫、わからないことがある時や不安になった時は、かならず先輩たちがサポートしてくれる。それにしても、いつの間にか自分の作業が速くなっていて、嬉しい。



🕒 04:30

今日も一日、何事もない  
“あたりまえの日常”を提供する。

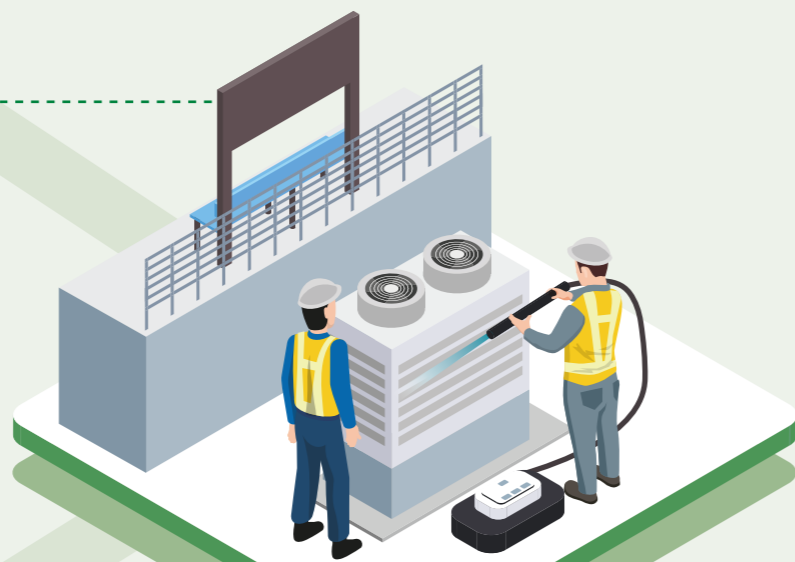
無事、ミスもなく時間どおりに作業を終わらせることができホッとしている。これで通勤・通学などに支障をきたすことなく、ホームドアは安全に機能してくれるだろう。そのことが仕事のモチベーションにもなっている。今日も一日、何事もない“あたりまえの日常”を皆さまに提供できますように——そんなことを考えながら、帰宅する。



🕒 10:00

空気がおいしいって気持ちがいい。

今日は、駅の空調機器の定期メンテナンスの日。高圧洗浄機を使う協力会社の人たちに的確に指示をしている先輩のおかげで、空調機器がスムーズに、どんどんとキレイになっていっている。早く先輩みたいにならなくては!しばらくするといい空気が入ってくる。まるで駅構内が澄んだようになる。これで、お客さまにもより気持ちのいい空気を吸っていただけるはずだ。



🕒 13:30

お腹も知識も満たされる。

作業した駅の近くのお店で先輩と一緒に昼休憩。ランチを食べながら、先輩に午前中の現場での不明点について質問していく。私の拙い説明にも先輩はいやな顔一つせず、おだやかに、そして的確に答えてくれる。将来、先輩ができたなら、自分もこんな人になれているといいな。

🕒 15:30

新しい機械をいじること  
ワクワクが止まらない!

自動券売機の新機種が出たため、研修室で訓練を重ねてきた。いよいよ、今日はそのメンテナンスにいけると聞いて、ついワクワクしてしまった。現場に着き、券売機の扉を開けると研修室で見たパーツがたくさんあった。新しい機械を触ると、いつも童心を思い起こさせる。研修室で訓練したことを一つひとつ思い出しながら、お客さまにとってより快適な駅利用につながることを願い、メンテナンスを進めていく。



🕒 18:40

現場に向かいながら故障原因を想像する。

「自動改札機の調子がわるい、急いで対応してくれ」とオンコールを受けた。準備をしつつ、これまでの故障対応を思い出し、どこに異常があるのかを想像しながら現場に駆け付ける。頭の中でシミュレーションしていたおかげで、スムーズに復旧できた。

🕒 19:30

「ありがとう」という言葉が  
心の支えになる。

復旧まで、それほど時間はかからないと思えますと伝えると、駅係員の方々が喜んでくれた。この仕事は社会的な責任も大きく、いつも緊張する。しかし同時に、ほかでは得られない誇りや喜びにもなっている。「おかげで助かりました。ありがとう」と、ねぎらいの言葉をかけてくれた。あたたかい気持ちになった。







## 社内外の人と 協力し合いながら 駅の日常を支えている。

東京支店 サービス1課  
佐藤 聖人  
高等専門学校(電気工学科)卒

### Profile

社交的で、若手の中でもリーダー的な存在として活躍。そんな性格から誰からも好感を持たれており、親しく声を掛けられることもしばしば。

## チームワークで乗り越えた 授業の課題や卒業論文

父が電気工学科の先生で子どもの頃から工作する姿を見ていたため、自然とものづくりや電気分野に対して興味が湧き、高専でも電気工学科を選択しました。また、高専に入学して以降、授業の課題を友人らと協力して乗り越えたり、多趣味な友人と趣味を共有し合ったり、とても充実した毎日を送りました。なかでも卒業研究は印象的な思い出です。同研究は、異なる研究テーマをもつ教授たちのもとに複数人の生徒が集まり、実験を進めるというものでしたが、当時、電子部品の構造や電子部品自体を構成する物質に興味があったため材料工学を選びました。なかなか難しいテーマでしたが、周囲と試行錯誤しながら研究を進めることはとても楽しく、最後までやり遂げることができました。



## “ものづくり×現場×人”が揃っていることが、この仕事の魅力

私は、プラモデルのように手先で何かを組み立てることや自分の手で何かを作り上げることが好きで、ものづくりに関連する仕事に就きたいと考えていました。また、机やパソコンに向かって仕事をするよりは現場で働きたいという気持ちもあり、それらが実現できるJR-MSに入社しました。入社後は、担当する駅の自動券売機や自動改札機などの定期点検や故障対応をする課に配属されました。これらの業務は1人で黙々と作業をするイメージを持たれがちですが、駅で作業するときには場所によって事前に手続が必要だったり、作業スケジュールの調整をしたり、外部とのコミュニケーションが必要です。駅へ行くたびに駅係員と会話をするため、いつの間にか仲良くなっています。また、誰かとコミュニケーションをとりながら仕事をするのは、より楽しく感じます。

## 社内は親しみやすく 頼りがいのある方が 多くいる

入社直後の新入社員にも先輩から積極的にコミュニケーションをとってくれるなど、社内はとてもフレンドリーな雰囲気だと思います。さらに、分からないことも質問しやすく、現場での作業中に何かあれば電話やFacetimeを繋いですぐ対応してくれるので心強いです。1人だと、解決できないことを自分だけで抱えてしまうと思うのですが、頼れる方が多くいるので安心して作業ができます。



## 一歩ずつ成長していくことに やりがいを感じる

まずは作業を1人でこなすことが大事だと思っていたので、現場に行き事象に対して何をすべきか、なかなか解決方法が出てこないことに、もどかしさを感じていました。しかし、現場で悩む度に電話で直属の先輩方に相談すると、すぐに次の一手を示してくれます。分からないなかでも、様々な経験を積める環境があり、おかげで自分だけでもできることが増えてきたと感じます。また、以前は点検作業で機械の清掃や調整をする際に、何か調子が悪いことは分かっても不具合の原因までは特定できませんでした。最近は原因追求が自分で行えるようになり、面白みを感じています。ついには、故障時のオンコール対応も自分の力で解決できるようになり、とても嬉しいです。



## 教える立場としても 成長していきたい

入社5年目を迎えた今、人に教える力を磨いていきたいです。現在も後輩に教える機会がありますが、彼らの質問にどう説明すればよいか悩むことがあります。写真を交えて手順書を作ってみるものの添える文章で行き詰まってしまうなど、作業を言語化することの難しさを感じています。早く、先輩がこれまで自分に対して説明してくれたように、私自身も分かりやすく伝えられる人になりたいです。





## 感謝の言葉を“原動力”に ホームドアで 人々の安全を守る。

東京支店 ホームドア課  
佐藤 浩正

工業高校(電気科)卒

### Profile

冗談を織り交ぜながら周囲を楽しませる愛されキャラだが、人一倍作業の練習をし、現場の責任者も務める頼もしい存在でもある。

## 部活で培った行動力と 年齢関係なく話せる力

身体を動かすことが好きで、高校ではサッカー一部に入っていました。部内の上下関係はやや厳しく、必要なことを予測して先輩が動く前に行動していました。自分たちがチームを引っ張っていく立場になってからは、より全員がサッカーに集中できる環境へ変えるため、先輩と後輩で対等な関係を築けるようにしました。そんな風に先輩や後輩関係なく率先してコミュニケーションをとっていたので、社会人になってからも幅広い年齢層の方と臆せず接することができていると思います。



## 義務感が、 誇りに変わった

社会のインフラを支える仕事に就きたいと考え、JR-MSに入社しました。当初は鉄道に特段興味はありませんでしたが、ホームドアが正常に動いているところを見ると、自分たちの点検作業が役に立っていることが感じられ、仕事に誇りを持てるようになりました。また、社宅をはじめとする福利厚生や休日もしっかりとれるため働きやすいと思います。夜勤に慣れるまで数カ月かかりましたが、出勤・退勤の時間帯は電車が込んでいないため通勤しやすかったり、夜勤明けの昼間の時間帯を有効に使えたり、今では夜勤の方がいいかも…と思います(笑)。



## 人間関係の良さと 自分の成長を実感できる

主な業務は、先輩と2人1組でホームドアの点検・修繕作業をしています。鉄道業界は多くの人の命を預かる、ミスが許されない仕事であるがゆえに厳しい人が多いと思っていましたが、先輩たちは分からないことがあっても嫌な顔ひとつせず教えてくれるし、作業中は見守ってくれるため安心して作業できます。社内の人間関係の良さに加え、成長しやすい環境にも魅力があります。最初は先輩が一通り作業するところを見ているだけでしたが、会社の訓練室で空き時間があれば練習したり、先輩にアドバイスをもらったり、やればやるほど修理する腕も上がってきて徐々にできるようになってきました。そして入社2年目頃には、故障したホームドアを自分の力で復旧させられるようになってきたことが、とても嬉しかったです。

## 原動力は達成感と感謝の言葉

ホームドアの点検・修繕作業は、基本的に終電から初電までの限られた時間内で行います。1駅に約80開口のホームドアがあり、それを2人1組になり合計10チーム程で対応しますが、時間的余裕はありません。時間配分を常に意識しながら、ほかの業者の方も同ホーム内で作業しているため社外との打ち合わせ、そして安全への配慮が必要です。繊細な作業で、最初は全然時間内に終わらなくて…。どうしたら時間を短縮できるのか、会社に帰って訓練機で練習していました。今では時間内に終わられるようになり、達成するたびにやりがいを感じます。さらに、作業が完了したことを駅係員に報告すると「ありがとう」と言ってくれます。仕事の面白さも原動力となっていますが、人に感謝されることはやっぱり嬉しいです。



## さらなる成長、そしてチームのために できることを考える

将来は、現場をとりまとめるポジションを目指しています。そのためは、まずどんな現場でも焦らず冷静に対処できるようになりたいです。点検作業中にほかのチームから「終了しました」という無線が流れると、焦ってしまう時があります。視野が狭くなりミスが発生しやすくなるため、どんな状況でも落ち着けるように意識していきたいです。また、オフィス内でも現場でも業務中のコミュニケーションは必要であり、それぞれが協力して業務ができるよう、作業開始までの待機時間に多くの会話をして距離を縮めています。自分のためだけでなくチーム全体で仕事しやすいよう、何ができるかを考えていきたいです。



# 仙台支店の Work Style



Let's Check!

教えて!  
仙台支店

**Point 1** 宮城、山形、福島の自動改札機・自動券売機などの出改札機器と空調機器のメンテナンスや故障対応によって“駅の日常”を支えています!

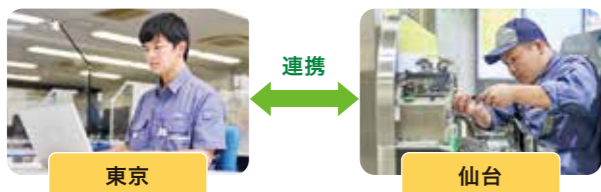
仙台支店では、仙台と郡山の2拠点で、180近い駅の自動改札機・自動券売機などの出改札機器や空調機器のメンテナンスや故障対応に取り組んでいます。基本的に駅までは車で移動するため、長い時は片道2時間半かかることもあります。

180近い駅の  
出改札機器・空調機器がメンテナンス対象



**Point 3** 東京本社とも連携し、メンテナンス手法もきちんと共有しています!

東京本社と仙台支店間でメンテナンス手法や故障対応など、なんでも相談できる環境が整っています。



**Point 2** 仙台支店は「サービス課」「空調課」「郡山支所」で構成されています!

※郡山支所は出改札機器・空調機器の維持管理をしています

### サービス課

- 自動改札機・自動券売機など出改札機器のメンテナンス・故障対応
- バージョンアップ作業
- 部品の管理
- 新規出改札機器の設置工事



### 空調課

- 冷暖房装置・ボイラーのメンテナンス・故障対応
- 換気・排煙装置のメンテナンス・故障対応



寒すぎて室外機が凍ってしまうなど、東北ならではのアクシデントも!

**Point 4** 教育制度も充実しています!

東京本社には現場と同じ機器が設置された「技術研修室」がありますが、仙台にも点検対象の機器を設置している「ハウスマシン室」で、作業のシミュレーションや不安な点の事前確認ができるので、安心して仕事に臨めます!



## Interview

### 仙台社員インタビュー

仙台支店 サービス課 遠藤 弘昌  
大学(機械工学科)卒

**Profile** 子どもの頃からプラモデルをつかったり、廃材を使って工作をしたりするのが好きだったという遠藤。大学では4大力学(材料力学、流体力学、熱力学、機械力学)を学んだ。もともと東京本社で勤務していたが、2021年4月の「仙台支店」新設に合わせて異動してきた。現在、本社での経験を活かしてサービス課を引っ張っている。



仙台に赴任した時は、どんな心境でしたか? .....

実は、仙台支店を新設する1年ほど前から「新しく仙台に拠点を設ける。その立ち上げメンバーとして参加してほしい」という話は当時の上司から言われていました。正直、わくわくしました(笑)。ずっと東京に住んでいたのに外に出てみたいと思っていましたし、仙台も行ったことのないエリアで、私にとっては“未踏の地”でしたから。一から支店をつくらなくてはいけないので不安も少しだけありましたが、準備期間から上司や同僚の方たちがアットホームで、皆で協力してがんばろうという雰囲気があったので安心しました。また、東京本社では経験していなかった新規機器の設置工事などを任せられるなど、仕事の幅が広がってやりがいを感じています。

仙台支店の雰囲気はどうか? .....

仙台支店は2021年4月に発足したばかりで、人数も少ないので、経験豊富で人数も多い東京本社と連携しながら仕事を進めています。逆に言えば、ワンフロアにすべての課が集まっている分、先輩や後輩、課を問わず、わからないことや困っていることがあれば何でも質問し合える風通しの良い組織だと思います。また、何か気になることがあれば、すぐに言い合えるようなコミュニケーションを大切にしています。この仕事は“一匹オオカミ”ではできませんから、協力しながら物事を進めるということを全員が心がけています。あと、支店内の有志で月1回ゴルフに行ったり、半年に1回くらい東京本社のゴルフ好きな方との交流戦をしたり、和気あいあいとした雰囲気です。

最も印象に残っている仕事は何ですか? .....

2022年3月16日に起きた地震にともなう故障対応です。あの時は新幹線が脱線してしまうほどの大地震の影響で、ある駅から券売機が破損したというオンコールが入りました。駅係員の方からも「当日中の復旧は難しいだろう」「券売機の交換もやむなし」と言われていましたが、私たちは「地域のインフラを維持するために当日中に復旧させよう」と考えました。結果的に当日中に何とか復旧できたのですが、これを実現できたのは三つの要因があったからだと思っています。一つは券売機のデータなどの致命的な損傷や故障がなかったこと、二つ目は部品の調達が早くできたこと、そして何より大きい要因は、復旧に向けて仙台支店と東京本社がさまざまなアイデアを出し合ったことです。JR-MSがチーム一丸となって一つの修理に向き合ったことは本当に心強かったですし、誇りに思いました。

コミュニケーションを大切に、  
機械に真摯に向き合う職場です!



### 平均的な1日の流れ

8:30	8:40	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	16:00	17:00	17:10
出勤・全員で体操 朝礼	作業の準備	駅に向けて出発	作業開始	お昼休憩	作業再開	作業を終えて帰社	報告書・日報の作成	終礼	業務終了



# JR東日本メカトロサービスとは

自動券売機や自動改札機などの出改札機器、ホームドア、空調機器などの駅設備のメンテナンス等を通じてお客さまの快適性や利便性、鉄道の安定輸送、そして、安全を支えている会社です

## 当社の強み

### JR東日本の 関連企業

JR東日本の関連企業として、駅におけるさまざまな設備・機器のメンテナンスや故障対応、工事、製造などを通じたフィールド技術サービスを提供しています。



### 鉄道の安定輸送の 一翼を担当

出改札機器やホームドア、信号機器室や地下駅の空調機器など、駅における重要な設備を任されています。



### 研修環境が充実

実際に駅で使用する出改札機器やホームドアが設置された「技術研修室」を設置。これによって、日常的にさまざまな機器を利用した研修ができます。



## 会社概要

社名	株式会社JR東日本メカトロサービス(JR-MS)
設立	1984年4月15日(株式会社ポムとして設立)
資本金	5,000万円
主な株主	JR東日本メカトロニクス株式会社
売上高	32.8億円(2023年度)
従業員数	191名(2025年3月現在)
建設業許可	機械器具設置工事業、電気通信工事業、管工事業
ISO認証登録	ISO9001取得(大宮支店: 駅務機器、周辺機器および物販機器の工場検修・修繕、組立・検査)

## 拠点紹介

### 大宮支店

自動券売機や自動改札機の組み立て、修理やオーバーホールなどに取り組む製造事業拠点。そのほか、新しいソフトやIC乗車券・ICカードシステムへの適合性の確認、自動券売機の画面レイアウト、磁気券の印刷情報などのデータ作成も担っています。



### 仙台支店・郡山支所

宮城・山形・福島の出改札機器、空調機器の維持管理に取り組む、2021年に開設した事務所。福島県には郡山支所もあり、仙台と郡山の2カ所から東北3県の駅の日常を支えています。



### 本社・東京支店

東京を中心とした首都圏エリアの技術サービスを担当。本社のあるビルには駅的环境を再現した「技術研修室」があり、自動券売機や自動改札機、ホームドアなどの実際の機械を使った研修や点検前のシミュレーションができます。



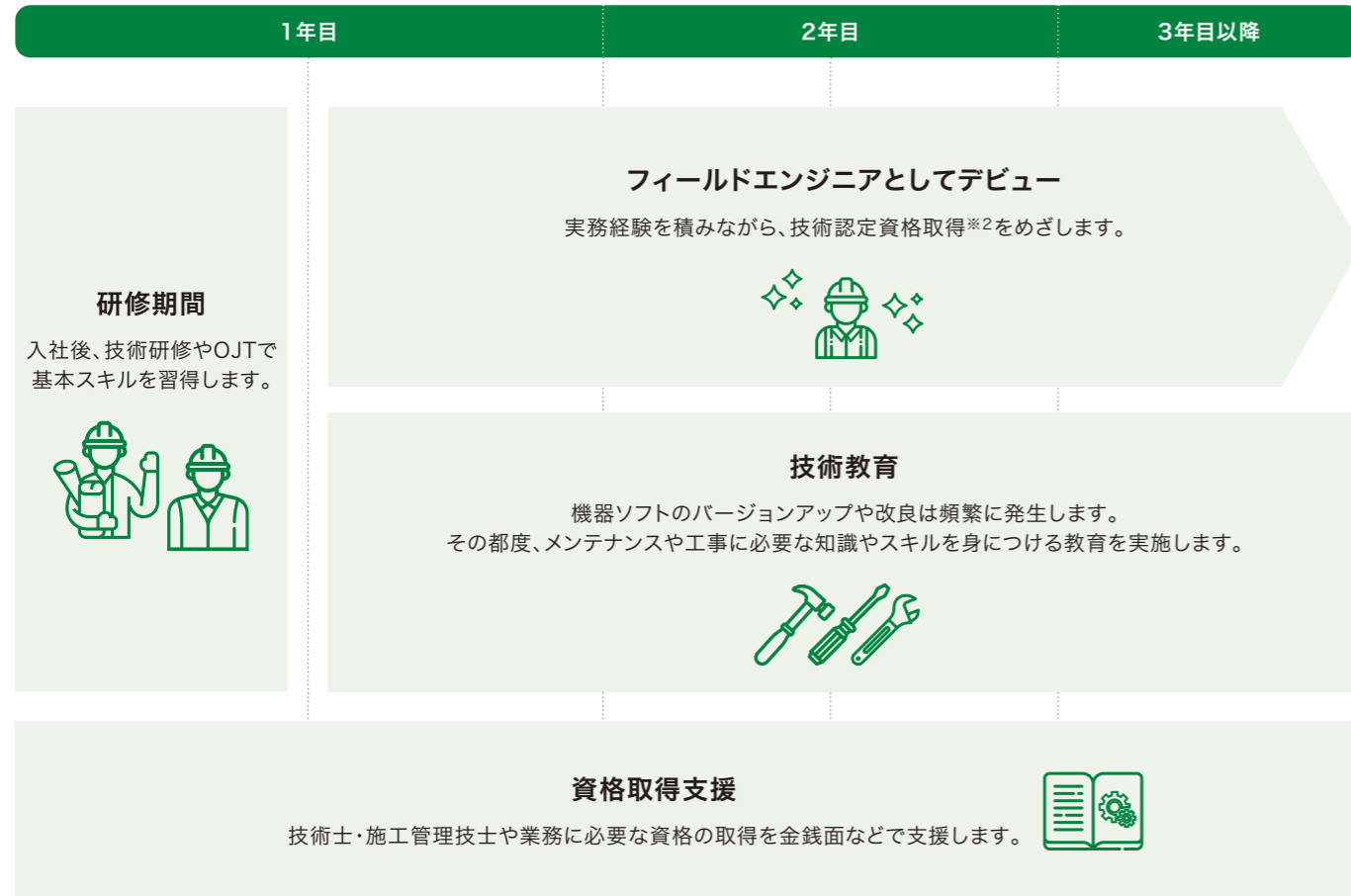
## 沿革

1984年	「株式会社ポム」として発足、紙幣識別ユニット、コインホッパーの工場検修と印刷発行機のメンテナンスを開始
1991年	自動改札機搬送部のオーバーホールを開始
1999年	ジェイアール東日本メカトロニクス(株)(現: JR東日本メカトロニクス(株))大宮事業所の全検修部門を受託(大宮に拠点を設置)
2000年	御徒町駅～田端駅間においてフィールドメンテナンスを開始(エリアメンテナンス方式の試行開始)
2002年	社名を「株式会社ジェイアール東日本メカトロサービス(JR-MS)」に変更
2005年	山手線29駅、中央線7駅にエリアが拡大(エリアメンテナンス方式の完成)
2006年	東京モノレールの出改札機器メンテナンスを開始
2007年	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉新都市交通(全線)の出改札機器メンテナンスを開始</li> <li>常磐線の出改札機器メンテナンスを開始(三河島駅～取手駅および南流山駅)</li> <li>鉄道博物館Suicaシステムのメンテナンスを開始</li> </ul>
2008年	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR東日本メカトロニクス(株)の製造業務を完全受託。製造事業、試験事業等の拠点として「大宮事業所」を新設</li> <li>社員の教育訓練を実施する「訓練センター(現: 技術研修室)」を秋葉原に設置</li> </ul>
2013年	山手線のホームドアメンテナンスを開始
2014年	24時間ホームドアメンテナンス対応を開始
2016年	駅務機器保守対象駅に東京都内17駅を追加
2017年	JR東日本メカトロニクス(株)から東京地区の空調関連業務を移管
2019年	社名を「株式会社JR東日本メカトロサービス(JR-MS)」に変更
2021年4月	仙台フィールド支店を開設
2023年7月	東京支店を開設。仙台フィールド支店を仙台支店、大宮事業所を大宮支店と改称
2023年11月	本社および東京支店を東京都港区芝浦に移転。郡山支所を福島県郡山市燧田に移転

## 制度・働く環境

### 教育制度※1

実際の現場で必要となるスキルを無理なく習得できるプログラムを整備し、良質なメンテナンスサービスを提供できる人材を養成しています。技術者に求められる知識や技能とともに、社会インフラの安定に貢献し続ける企業の一員としての使命感の醸成にも注力しており、訓練修了後は、自信を持ってフィールドメンテナンスをできるようになります。



※1 研修期間・内容は年度により異なります。

※2 技術員の「鉄道」「機械設備」「保全」「法令遵守」の知識・技術レベルを確保するためにJR各社が導入している資格取得制度です。

### 資格取得支援制度

社員が各種技術資格などの取得にチャレンジすることを奨励しています。奨励資格を取得すると、資格に応じた報奨金が支給されます。

報奨金例

技術士 (機械、電気)	1級管工事、電気工事、 電気通信施工管理技士	2級管工事、電気工事、 電気通信施工管理技士	第一種電気工事士	第二種電気工事士
15万円	10万円	5万円	10万円	5万円

### 福利厚生・勤務環境

#### 少ない残業時間

前年度平均 **8.4**時間  
(2023年度)



#### 有給休暇取得も容易

前年度平均 **17.2**日  
(2023年度)



#### 育児・介護制度の充実

時短勤務、復帰後社員への  
相談窓口の設置など

男性社員  
育休取得率 **100**%  
(2023年度)



#### 仕事と家庭の両立を支援

次世代子育て支援サポート企業  
くるみん認定取得



## JR-MS ではこんな人材を募集しています!

チャレンジ精神

努力と研鑽

仲間との連携

使命感の共有

社会貢献が  
したい

柔軟な発想力

機械  
システムが好き



エントリーは  
こちら!

